

1. 「見える化」による安全帯の掛け替えトレーニング

■ 安全帯掛け替え訓練を毎日、ローテーションで実施



安全帯の掛け替え試行ヤードを設置し、いつでも訓練が行えるようにした。

より実際の状況に近くなるよう、掛けやすい親綱ではなく、単管パイプを対象物とし、足元は平均台を設置している。

掛け替え訓練は毎朝、朝礼・KYミーティング後に、2社程度を指定、ローテーションで実施している。

